

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和5年5月31日

事業所名 メルケアみなとセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			設置基準を上回る面積を確保しています。
	②	職員の配置数は適切である	○			設置基準を上回る人員を配置しています。また基準配置の保育士・児童指導員のほかに言語、作業、理学療法士、公認心理士を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			積極的に構造化に努めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			活動内容に合わせて机の配置を変えるなど療育に効果的な空間づくりに努めています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			支援目標の設定や活支援プログラムの策定時には支援会議を、日々の療育時には適時カンファレンスを実施し、目標設定、実施、振り返り、改善を行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価票のほか、日々のメールや来所時には意向聴取に努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			自己評価を行い、自己評価結果及び保護者等からの評価結果はホームページで公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は実施する予定です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			十分とは言えませんが、職員研修を実施し職員の資質向上に努めています。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			アセスメント、相談支援事業所との連携会議当の内容を踏まえ、児童・保護者の要望をもとに機能訓練職員による支援を取り入れた支援計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			子どもの状態に合わせた各種発達検査等を利用している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			ガイドラインの趣旨に則り、具体的な支援内容を設定しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			支援計画立案、実施、モニタリングにより支援計画に沿った支援を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			観つ系職員全員が参加する支援会議やカンファレンス等を通じチームで共通理解を図っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児童の日々の状態によって支援内容に工夫を加えています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			状況に精通した職員が参加しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			サービス提供時間前に実施しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			営業前後においてブリーフィングを行い職員間で共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			実施記録を毎回作成し共有している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを実施し、結果を十分に検証したうえで支援内容の見直し、継続を判断しています。
	関係機関や保護者との連携関係機関や保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			保護者の希望に基づき必要に応じ連携している。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			保護者の希望に基づき必要に応じ連携している。
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			保護者の希望に基づき必要に応じ連携している。
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者の希望に基づき必要に応じ連携している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者の希望に基づき必要に応じ連携しています。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			保護者の希望に基づき必要に応じ連携し助言を受けています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		個別支援が中心なので、事業所としての活動は難しいですが保育所等の移行後や並行通園等でインクルージョンを推奨している。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		該当会議の開催がないと思う。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者同席の療育であり、通所の都度話し合いをもっている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			ファミリーストレスの解消やペアレントトレーニング、また理学・作業・言語療法師等による支援は保護者同席のプログラムの中に組み込んだ支援を行っています。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始時に、常陽事項説明書によりサービス全般にわたる説明を行い文書をお渡ししています。運営規定は、事業所内に掲示しています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			支援計画を作成し、保護者に説明の上同意のサインを頂いています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者同席通園では、発達支援とともに家族支援も行っており、相談への助言・支援も適宜対応しています。メールでの毎日のやり取りの中でも相談に応じています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			当法人はNPO法人であり、利用者は法人の構成員であり、保護者会のメンバーでもありますので、会員間の連携等のサポートは事務局で対応しております。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			通所日以外にも毎日保護者とはメールで相談やその日あったことなどの報告を受けており迅速に対応しています。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			同上。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○			職員の守秘義務の徹底、外部への情報提供は保護者の要請、または同委に基づくこと、鍵付きロッカーへの書類の保管等十分留意しています。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			③⑯と同じ。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		毎年夏季休暇時に、福祉のお仕事体験等で学生等の受け入れを2カ月間実施しています。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルを策定し職員間で共有するとともに保護者には掲示によって周知しています。発生を想定した訓練は④⑩以外はできておりません。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			非常災害対策計画に基づき自然災害、火災を想定し職員でのみ避難訓練を実施しています。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			既往症やアレルギーの有無について利用申込書時に文書で報告を頂いております。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物は提供していませんので該当事例はありません。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット事案は、発生後ただちに上司に報告するとともに、報告書を提出し全職員で共有することとしています。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を設置し、防止体制を構築するとともに職員研修を実施しております。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				身体拘束は行っておりませんが、また保護者同席支援のためその必要性を認めませんが、身体拘束等の適正化に関する施設側の指針の整備、研修の実施及び身体拘束等の適正化に関する委員会の設置を行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。